

Course number		U-LAS04 10006 LJ46					
Course title (and course title in English)		心理学II Psychology II		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, OOKURA TOKUSHI	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Pedagogy, Psychology and Sociology(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
Year/semesters		2026・First semester		Number of credits		2	
Days and periods		Tue.2		Target year		All students	
Eligible students		For all majors		Field(Classification)		Pedagogy, Psychology and Sociology(Foundations)	
[Overview and purpose of the course]							
心理学の成り立ちと、人の心の基本的な仕組みおよび働きについて、法心理学の観点から論じる。具体的には、刑事司法における取調べの問題や目撃証言、被疑者、被害者の供述の分析の事例などを扱いながら、心理学の基礎的な知識を学んでいく。 なお、本授業では、刑事事件の具体的事例を扱う中で、性犯罪等のセンシティブな事案に言及する場合がある。これらは供述の心理的特徴や記憶過程を理解するために必要な範囲で取り扱うものであるが、内容に心理的負担を感じる場合には個別に相談に応じる。							
[Course objectives]							
「知覚」や「記憶」、他者との「人間関係」や「コミュニケーション」を通して、「事実」ができていく様相を理解する。刑事司法における諸問題についての見識を深め、供述分析の基本的手法を習得する。							
[Course schedule and contents]							
1. 冤罪はなぜ起こるか (第1回) 2. 人質司法の問題 (第2回～第4回) 3. 目撃証言の心理学 (第5回～第6回) 4. 子どもの供述と司法面接 (第7回) 5. 代表的な供述分析 (第8～9回) 5. 裁判所はなぜ間違えるか (第10回) 6. 対立仮説検討型供述分析の考え方 (第11回～第14回) 7. フィードバック (第15回)							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
レポートと授業中の小課題 (レポート70%、小課題30%)。心理学の基礎知識を踏まえた上で、供述分析の考え方と手法を身に付けられているかを評価 (素点) の対象とする。							
Continue to 心理学II(2) ↓ ↓ ↓							

心理学II(2)

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

(References, etc.)

村山満明・大倉得史（編著）『尼崎事件 支配・服従の心理分析』（現代人文社）

浜田寿美男『自白の心理学』（岩波書店）

指宿誠・木谷明（他）（編）『供述をめぐる問題（シリーズ 刑事司法を考える 第1巻）』（岩波書店）

浜田寿美男『証言台の子どもたち：「甲山事件」園児供述の構造』（日本評論社）

山本登志哉（編著）『生み出された物語：目撃証言・記憶の変容・冤罪に心理学はどこまで迫れるか（法と心理学会叢書）』（北大路書房）

[Study outside of class (preparation and review)]

上記の参考書等を読み、「自己」「記憶」「事実」とは何であることを考えておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

教室定員を超える受講希望者が出た場合、抽選を行う。グループワークを多用するので、積極的に発言すること。

授業内容に関して心理的配慮が必要な場合は、事前または授業後に個別に相談すること。

[Essential courses]

Faculty of Integrated Human Studies